

シナカルセット投与中の透析患者における血清カルシウム(Ca)とリン(P)コントロール

博樹会 西クリニック

○中山みどり(なかやま みどり) 木村香代 佐藤浩子 瀬在丸せつ子 一瀬ゆかり 岩切嘉代子

山川浩子 西 隆博 西 忠博

【目的】

近年、二次性副甲状腺機能亢進症(以下 HPT)を合併する透析患者にシナカルセットが投与されることが多い。この時の血清 Ca 値、P 値のコントロール状況を検討したので報告する。

【対象】

週 3 回血液透析を受けている当院の透析患者 170 名のうち HPT によりシナカルセットを投与されている 52 名について、投与前と投与 6 ヶ月後の血清 Ca、P、インタクト PTH および活性ビタミン D(VD3)と各種 P 吸着剤(カルタン(r)、レナジェル(r)、ホスレノール(r))の服用状況を調査した。

【結果】

VD3 の併用は 46 名(88%)と大多数にみられた。P 吸着剤は、カルタン(r)+レナジェル(r)が 19 名(37%)、カルタン(r)12 名(23%)、カルタン(r)+レナジェル(r)+ホスレノール(r)11 名(18%)であった。インタクト PTH は平均値前 308、後 156pg/ml と有意に低下し(p<0.01)、Ca 値は前 9.23、後 9.28mg/dl と変化なく、P 値は前 5.96、後 4.93mg/dl と有意の低下を示した(p<0.01)

【結論】

シナカルセット投与により PTH は確実に低下し、これに加えてビタミン D3 や各種 P 吸着剤をきめ細かく使用することにより血清 Ca と P の良好なコントロールがえられた。